

# 浅江小だより



ホームページ

光市光ヶ丘2番10号  
TEL (0833)72-0039

令和6年度 臨時号  
光市立浅江小学校 校長 兼坂 幸雄

## 令和6年度 学校評価（前期）アンケート結果

日頃より、本校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。過日実施した学校評価アンケートへのご協力、また貴重なご意見やご要望をお寄せいただいたことに、心より感謝申し上げます。

肯定的評価の割合

※評価5と4を肯定的評価としています。

5	とてもそう思う
4	そう思う
3	あまり思わない
2	ほとんど思わない
1	分からない

### アンケート設問

番号		保護者対象	7月 肯定的 割合	児童対象	7月 肯定的 割合	教職員対象	7月 肯定的 割合
1	①	学校は、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を展開し、子どもの様子や教育活動の情報を発信して、共有できるようにしている。	93	自分は、浅江の人や自然が好きだ。	90	学校は、学校・地域連携カリキュラムを基に、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を展開しながら、子どもの様子や教育活動の情報を発信し、共有できるようにしている。	100
2	②	子どもは、あさなえネットの取組に喜んで参加している。	84	自分には、よいところがある。	77	子どもは、あさなえネットの取組に喜んで参加している。	100
3	③	家庭や地域は、学校の教育方針等を踏まえ、学校・家庭・地域のつながりのある教育活動に積極的に関わっている。	87	浅江の人と関わったり、ふれあったりすることが楽しい。	90	学校の教育方針等を踏まえ、学校・家庭・地域の連携・協働による取組に積極的に関わっている。	98
4	①	学校は、「15歳の浅江っ子像」の育成に努めている。	86	他の学年の人や中学生といっしょに活動することが楽しい。	85	学校は、浅江中との一貫教育を進め、「15歳の浅江っ子像」の育成に努めている。	100
5	②	子どもは、上の学年の人や中学生にあこがれをもっている。	72	上の学年の人や中学生にあこがれをもっている。	73	子どもは、上の学年の人や中学生にあこがれをもっている。	95
6	①	学校は、家庭・地域と連携しながら、豊かな体験活動ができるよう努めている。	95	学校では、授業の中で浅江地域を知るいろいろな体験をすることができる。	87	学校は、家庭・地域と連携しながら、豊かな体験活動ができるよう努めている。	100
7	②	学校は、体験活動の中で、子どもに、進んで周りの人と関わる力が身に付くよう取り組んでいる。	90	自分は、体験活動の中で、進んで友達や地域の人などと関わっている。	83	学校は、体験活動の中で、主体的に人と関わる力が身に付くよう取り組んでいる。	98
8	①	学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。	82	授業は、わかりやすい。	93	学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。	98
9	②	学校は、友達と一緒に話し合いながら、考えを深める授業づくりに取り組んでいる。	83	授業では、友達と話し合う活動をよく行っている。	88	学校は、仲間と関わり合いながら、考えを深める授業づくりに取り組んでいる。	96
10	③	学校は、子どもに家庭学習の習慣が身に付くように取り組んでいる。	85	自分は、家庭学習に進んで取り組んでいる。	78	学校は、子どもに家庭学習の習慣が身に付くように取り組んでいる。	94
11	④	学校は、子どもに読書の習慣が身に付くように取り組んでいる。	70	自分は、学校の図書室や市の図書館、学級文庫の本、自分のもっている本をよく読んでいる。	78	学校は、子どもに読書の習慣が身に付くように取り組んでいる。	87
12	①	子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。	87	学校は、楽しい。	92	学校は、子どもが楽しいと思えるような学校・学級づくりに取り組んでいる。	96
13	②	学校は、家庭・地域と連携しながら、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	71	自分やまわりの人は、いじめを受けていない。	73	学校は、家庭・地域と連携しながら、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	100
14	③	学校は、子どもが困ったときに相談できる体制づくりに努めている。	81	自分には、困ったときに相談できる先生がいる。	82	学校は、子どもも困ったときに相談できる体制づくりに努めている。	98
15	④	学校は、計画的に体力向上や生活習慣の改善をめざした取組を行っている。	86	自分は、進んで運動や遊びを行ったり、規則正しい生活を行ったりしている。	87	学校は、計画的に体力向上や生活習慣の改善をめざした取組を行っている。	100

アンケートでは、学校生活や教育活動に対する温かいお声を多くいただき、大変励みとなりました。同時に、改善が必要な点や今後の取り組みに対する貴重なご意見もいただき、改めて課題を見直す機会となりました。

### 1. 教職員の対応

- 子どもたち一人ひとりに寄り添った指導や、丁寧な対応への感謝のお声をいただきました。反面、指導方法や対応の仕方について、高い人権感覚をもって指導にあたっていく必要があるとのご指摘もいただきました。職員間で再確認し、今後も子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう努めて参ります。

### 2. 学校行事や活動の充実

- 学校行事や地域と連携した活動に参加していただくことを通して、子どもたちが自信をもち、成長する姿に共感いただきました。地域との連携が良好である点も評価いただきました。また、今後の地域連携を進める上で、ねらいや関わり方を明確にした連携の必要についてご指摘もいただきました。行事や活動の充実に向け、趣旨やねらいの共通理解を図りながらより良い連携を進めるよう努めて参ります。

### 3. 安全対策の強化

- 一部、児童の登下校中の危険な行為があることに対して懸念が示されてきました。交通安全に関して、命を守るための指導を徹底して参りたいと思います。また、学校、地域、保護者が連携して危険箇所の確認と対策を進めて参ります。

### 4. 学習サポートの充実

- 授業内容の工夫や、個々の学力に応じた支援体制の充実を求める声がありました。教職員間で指導法を共有し、わかりやすい授業を目指します。また、補充学習や学習支援の機会を拡充し、一人ひとりの学力向上を図ります。

### 5. 行事

- 行事の実施時期について天候等の関係から見直しを求める声がありました。状況を鑑み、適切に決定して参ります。

### 6. 紫外線対策

- 紫外線対策として日傘や帽子の使用を奨励するよう求める声がありました。生徒指導だよりでお知らせのとおり、実施いたします。

皆様からいただいたご意見に真摯に向き合い、今後も教職員一同、子どもたちがより良い学校生活を送ることができるよう努めて参ります。引き続き、皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

